廃棄物資源循環学会主催

平成２１年度廃棄物資源循環学会シンポジウム
「低炭素社会をめざす廃棄物処理のあり方」

趣　旨

日本は2050年までに世界の温室効果ガス排出量を50%削減しようという長期目標を提唱し、世界共通の目標として指示されている。Ｇ８ライクラ・サミットではこの一部として、先進国全体で50年までに80%又はそれ以上削減するとの目標が掲げられた。一方、京都議定書の目標である 6%削減達に対して、2005年度の排出量は基準年より7.8%上回っており、第１約束期間（2008年～2013年）での達成は非常に困難になりつつある。

このような状況の中で、廃棄物処理についても温暖化対策の強化が求められている。京都議定書目標達成計画では、2010 年度のエネルギー起源二酸化炭素の排出削減量を積算する際に、ごみ発電の導入量を417万kWと見込んでいるが、2005年度の総発電能力は約152万kWにとどまっており、エネルギー回収能力の一層の増強を図ることが求められている。また、収集運搬をはじめ、廃棄物処理・資源化の一連の過程におけるエネルギー利用の効率化、施設の長期利用など、システム全体の効率化を図る必要がある。

本シンポジウムは、このような認識のもと、低炭素社会をめざす廃棄物処理のあり方を展望し、技術的・制度的課題とその対応策について議論することを目的とし、企画したものである。

1. 開催時期　平成22年2月18日(木) 13時～17時
2. 開催場所　専売ホール　東京都港区芝5丁目26番30号　専売ビル8階
   JR田町駅三田方面口徒歩5分、地下鉄三田駅慶應大学口徒歩4分
3. 概　要
   ■開会挨拶　廃棄物資源循環学会
   ■基調講演　「低炭素社会を展望する」西岡　秀三　氏（国立環境研究所特別客員研究員）
   ■パネルディスカッション「低炭素社会をめざす廃棄物処理のあり方」
   ◎コーディネーター
   松藤　敏彦　氏（北海道大学大学院教授）
   ◎パネリスト
   森口　祐一　氏（国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター長）
   山川　肇　氏（京都府立大学生命環境学部環境デザイン学科准教授）
   角田　芳忠　氏（株式会社タクマ企画・開発センター東京技術企画部長）
   藤吉　秀昭　氏（財団法人日本環境衛生センター常務理事）
4. 参加費　会員3000円（非会員4000円）※ 参加費は当日受付でお支払い下さい。
5. 参加申し込み方法　学会ホームページから申込書をダウンロードして、廃棄物資源循環学会事務局までFAXでお申し込み下さい。

〒108-0014　東京都港区芝5-1-9　豊前屋ビル5F
TEL　03-3769-5099　　FAX　03-3769-1492

廃棄物資源循環学会シンポジウム参加申込書

氏　名	フリガナ
所　属 ※①～⑧のいずれか1 つに〇をつけてください。	
	①一般市民　②学生　③大学，研究機関等　④企業　⑤コンサルタント ⑥自治体　⑦NPO・市民団体　⑧その他
連 絡 先	住所　〒 E－mail:
	TEL:　　－　　－
	FAX:　　－　　－
	会 員　　会員外　（いずれかに〇をつけてください。）

このままＦＡＸで送信してください。　ＦＡＸ　０３－３７６９－１４９２

※ 同日、午前１０：００～１２：００　３Ｒ検定実行委員会主催の「第２回３Ｒ検定合格者ミーティング@東京　～交流と実践のためのプログラム～」へ参加できます。